

重要文化財 北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）
保存活用計画

北海道

例 言

- 1 本書は、北海道札幌市北3条西6丁目1番地に所在する「重要文化財北海道庁旧本庁舎」（北海道所有）の保存活用計画である。
- 2 本計画は、「重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針」（平成11年3月 文化庁文化財保護部）に基づき策定した。
- 3 北海道は、平成29年に本計画を策定した際には、公益財団法人文化財建造物保存技術協会（以下「文建協」という）に関連業務を委託した。また、「赤れんが庁舎保存活用検討委員会」を設置し、専門的な指導・助言を得ると共に、文化庁の指導・協力を得て本計画書を策定した。
- 4 令和5年度の変更は、令和6年度及び令和7年度に実施を予定している展示等整備の内容に整合させるため、第5章を変更するものである。
- 5 本計画書においては、基本的に下記の用語を使用する。

区分	使用する用語	摘要
敷地	北海道庁本庁舎構内	現在の北海道庁本庁舎の敷地とする。
建造物	赤れんが庁舎	重要文化財旧北海道庁本庁舎とする。
	現本庁舎	現在の北海道庁本庁舎（昭和43年竣工）とする。
修理等	火災復旧	明治42年の火災後に行われた明治44年の復旧工事とする。
	復原改修	昭和43年に行われた復原を含む改修とする。



赤れんが庁舎 外観（正面）



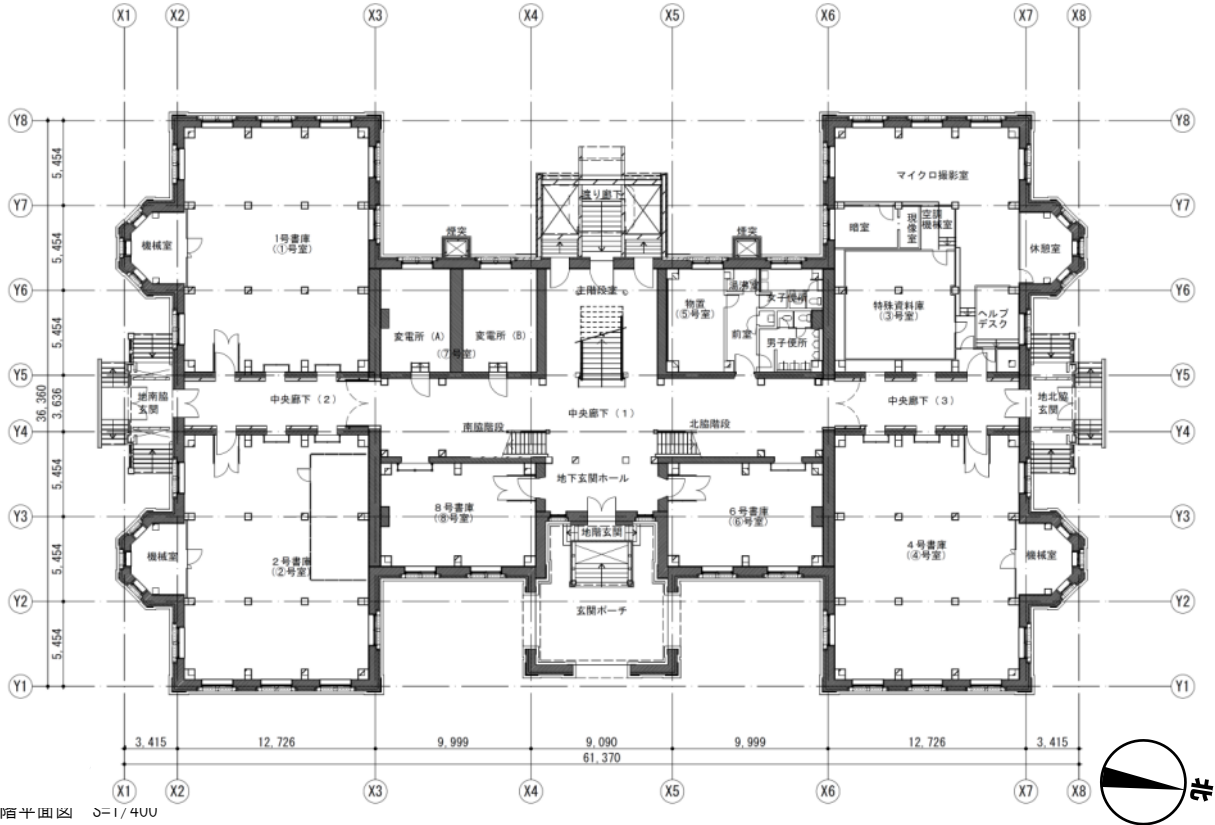
赤れんが庁舎 外観（北側面）



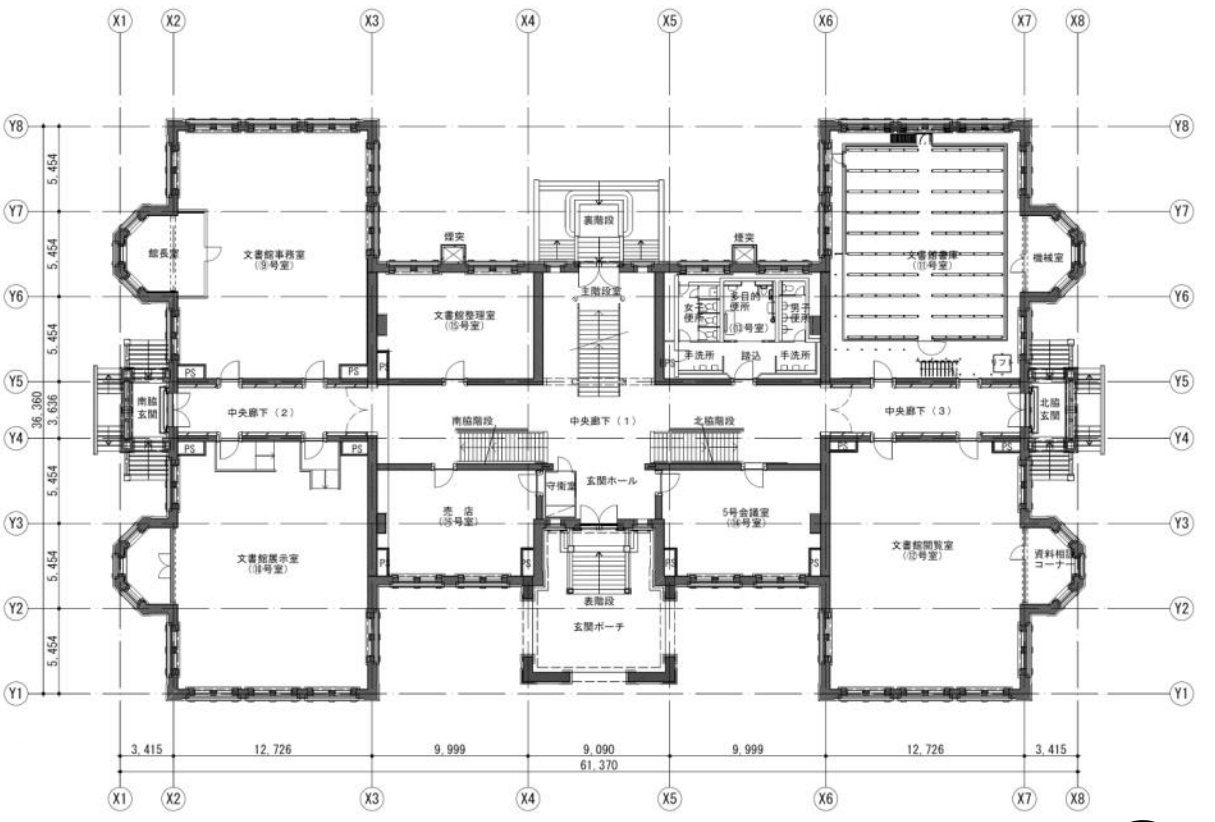
赤れんが庁舎 内部（2階 記念室）



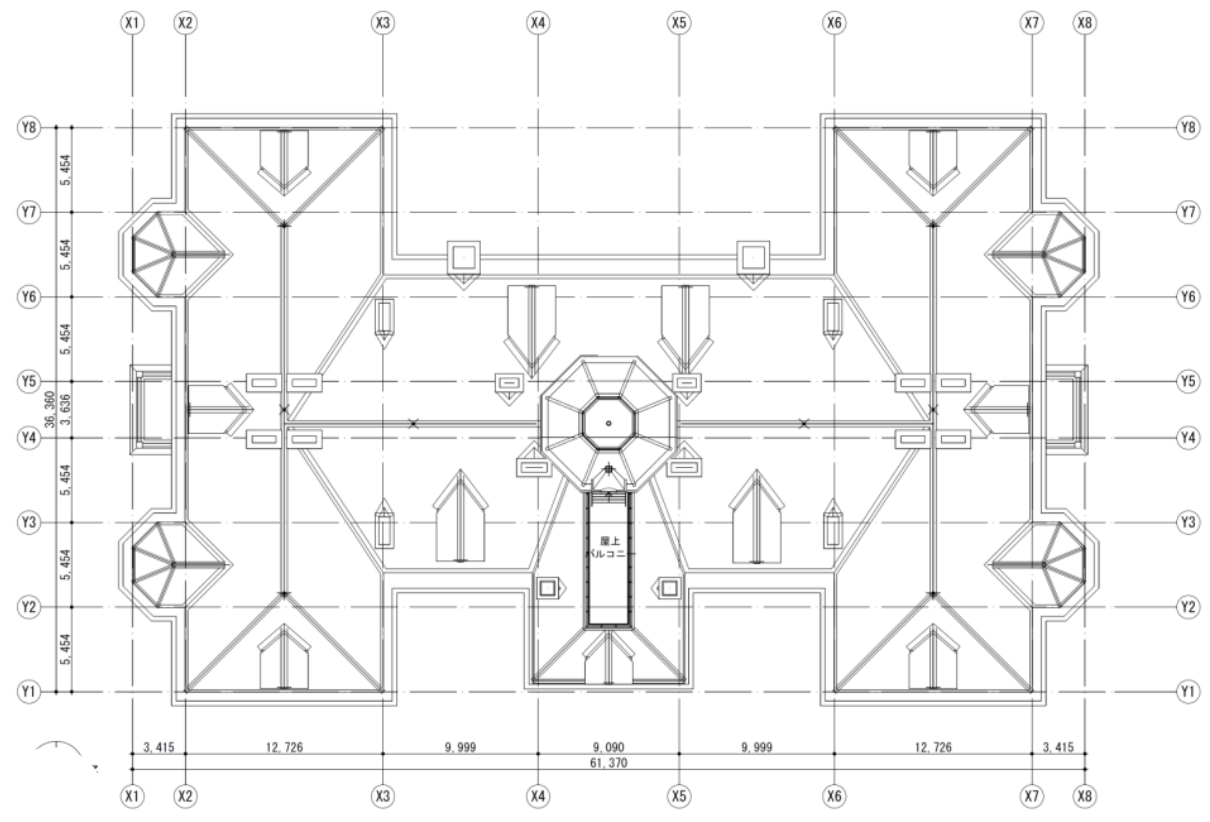
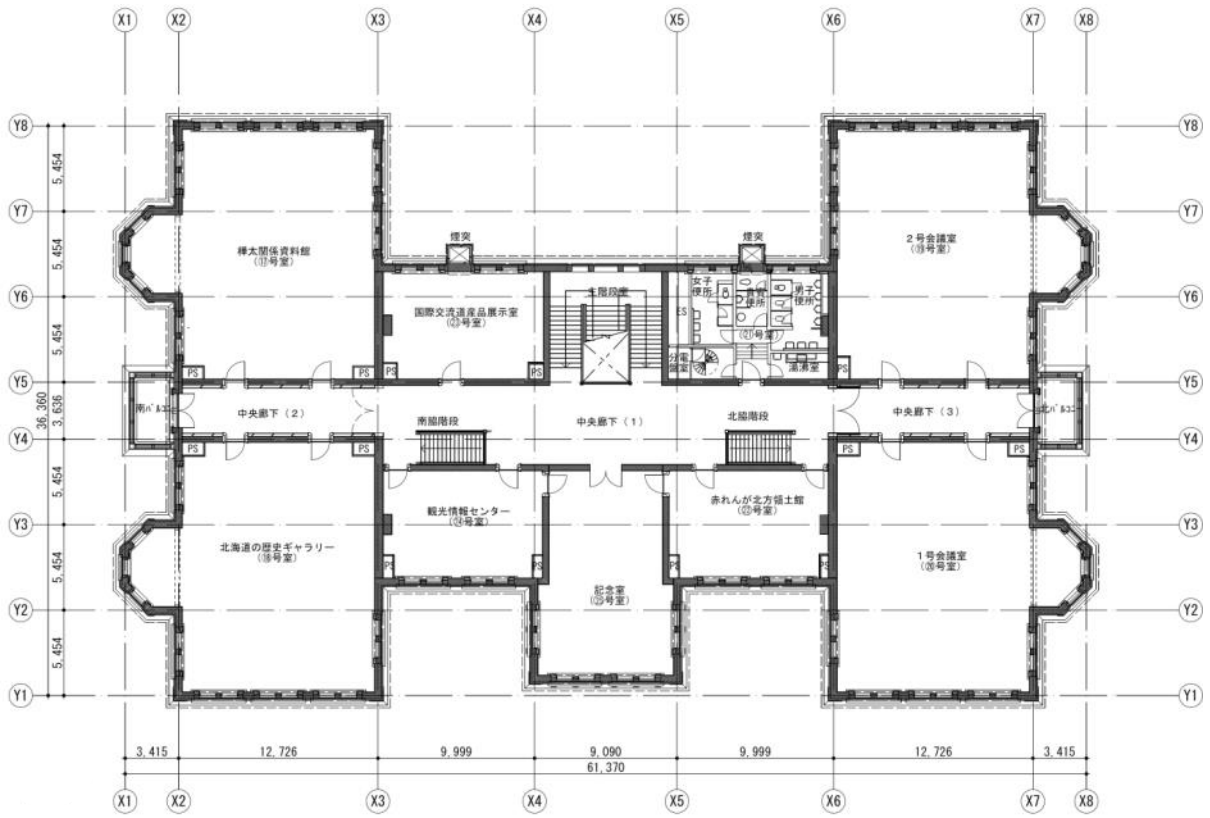
赤れんが庁舎 内部（1階 玄関ホール）

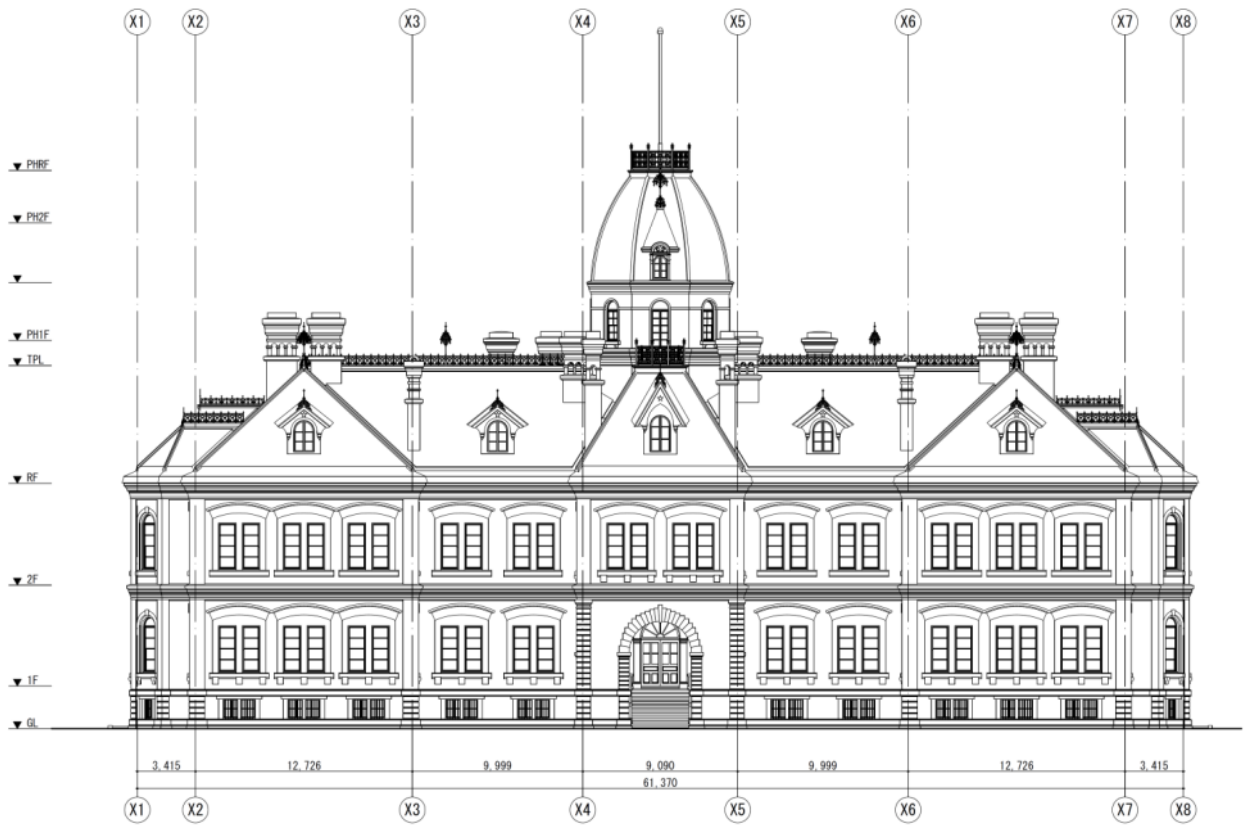


地階平面図 S=1/400

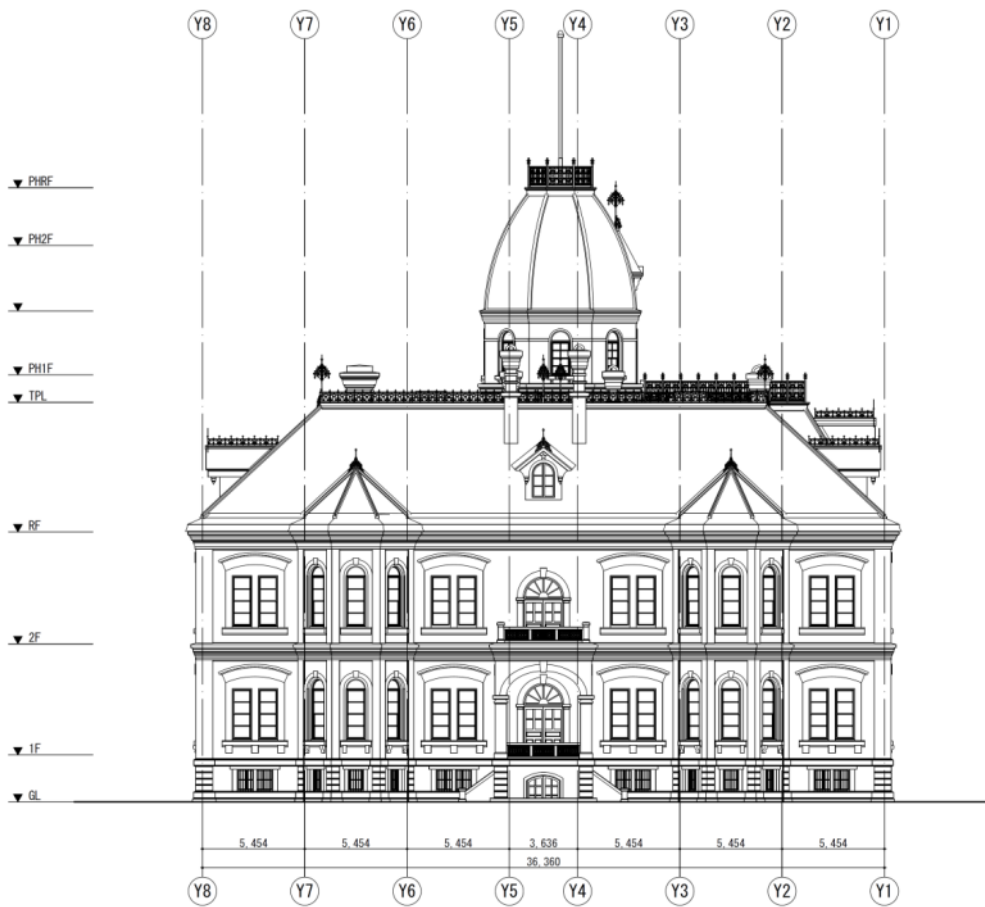


1階平面図 S=1/400

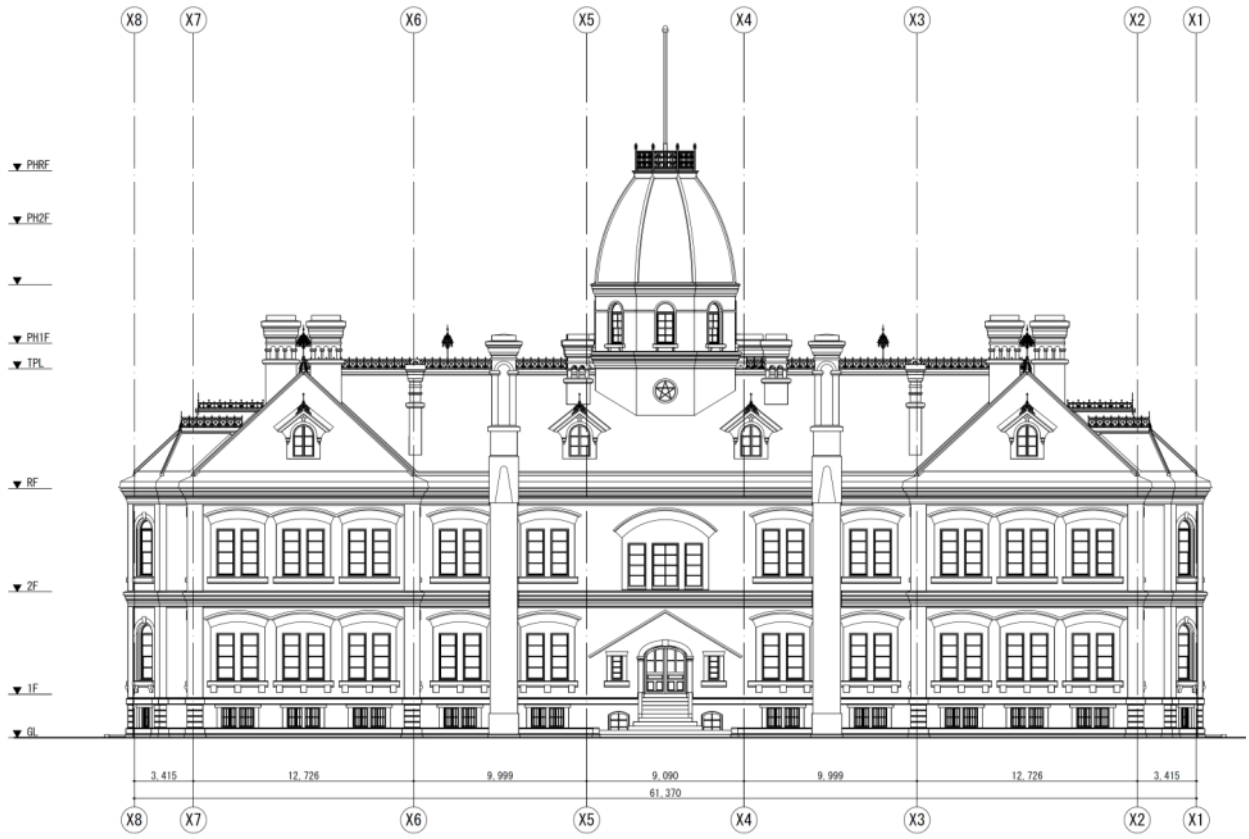




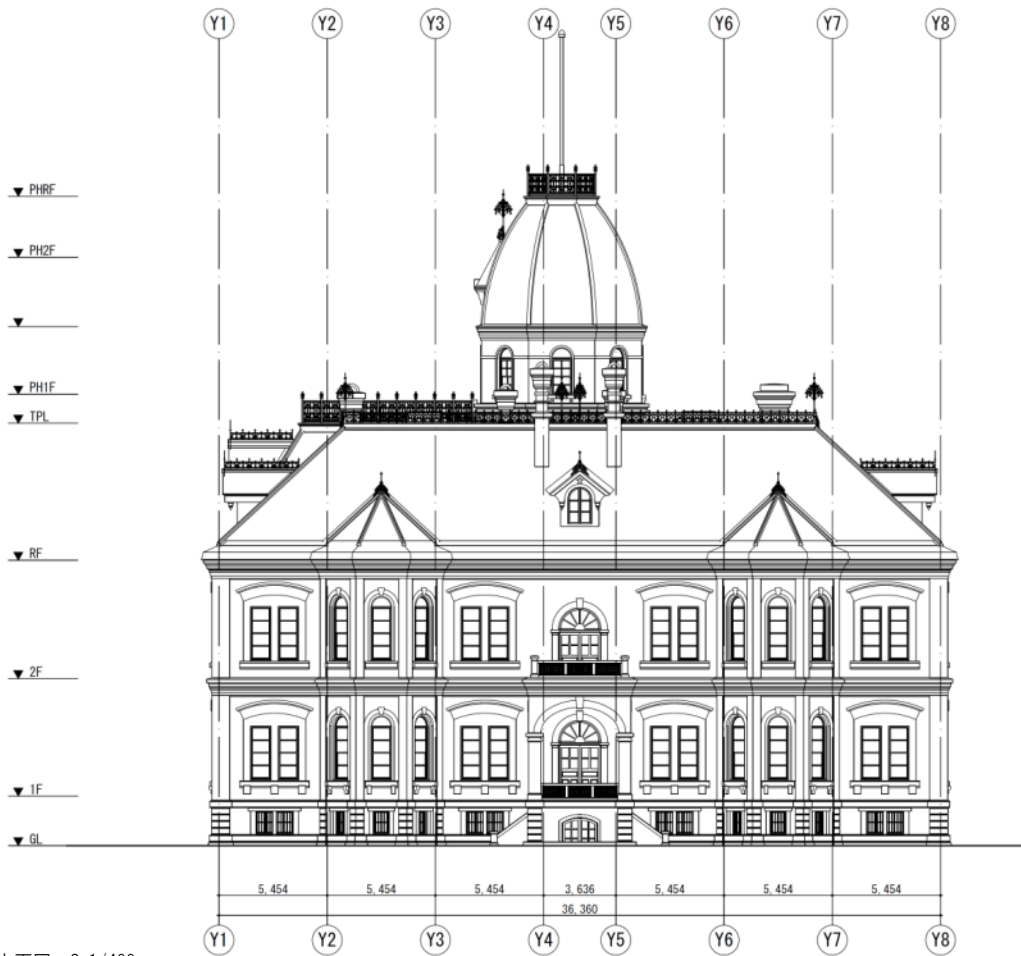
東立面图 S=1/400



南立面图 S=1/400



西立面图 S=1/400



北立面图 S=1/400

北海道庁旧本庁舎保存活用計画

目 次

第1章 計画の概要	1
1-1 計画の作成	1
(1) 作成年月日	1
(2) 作成者	1
(3) 検討委員会の設置	1
(4) 計画変更年月日	1
1-2 文化財の名称等	2
(1) 重要文化財（建造物）の名称等	2
(2) 重要文化財（建造物）の構造及び形式	2
(3) 所有者の氏名及び住所	2
1-3 文化財の概要	2
(1) 文化財の構成	2
(2) 文化財の概要	7
(3) 赤れんが庁舎の建築的特徴	15
(4) 文化財の価値	20
1-4 文化財保護の経緯	22
(1) 保存事業履歴	22
(2) 活用履歴	22
1-5 保護の現状と課題	23
(1) 保存の現状と課題	23
(2) 活用の現状と課題	23
1-6 計画の概要	23
(1) 計画区域	23
(2) 計画の目的	24
(3) 基本方針	24
(4) 計画の概要	24
第2章 保存管理計画	26

2-1	保存管理の現状	26
	(1) 保存状況（破損状況）	26
	(2) 管理状況	29
2-2	保護の方針	30
	(1) 赤れんが庁舎の保護における基本的な考え方	30
	(2) 部分の設定と保護の方針	30
	(3) 部位の設定と保護の方針	31
2-3	管理計画	33
	(1) 管理体制	33
	(2) 管理方法	33
	(3) 軽微な修繕	35
2-4	修理計画	37
	(1) 当面必要な維持修理等の措置	37
	(2) 今後の保存修理計画	37
第3章 環境保全計画		38
3-1	環境保全の現状と課題	38
3-2	環境保全の基本方針	38
3-3	区域の区分と保全方針	39
3-4	建造物の区分と保全方針	39
3-5	防災上の課題と対策	40
	(1) 防災上の課題と今後の対処方針	40
	(2) 環境保全施設整備計画	40
	(3) 周辺樹木の管理	40
3-6	北海道庁本庁舎構内の環境保全方針	41
	(1) 北海道庁本庁舎構内の敷地環境の現状	41
	(2) 今後の環境保全に向けた課題	41
第4章 防災計画		42
4-1	防火・防犯対策	42
	(1) 火災時の安全性に係る課題	42
	(2) 防火管理計画	42
	(3) 防犯計画	48
	(4) 防災設備（防火・防犯設備）計画	49
4-2	耐震対策	50
	(1) 耐震診断	50

	(2)	耐震補強方法	51
	(3)	地震時の対処方針	52
4-3		耐風対策	52
	(1)	被害の想定	52
	(2)	今後の対処方針	52
4-4		その他の災害対策	52
第5章 活用計画				53
5-1		公開活用の基本方針	53
5-2		公開基本計画	53
	(1)	公開範囲	53
	(2)	公開時間	54
5-3		活用基本計画	54
	(1)	利活用コンセプト	54
	(2)	計画条件の整理	55
	(3)	付与する機能	57
	(4)	各フロアのゾーニング	59
	(5)	動線計画	61
5-4		建築計画	62
	(1)	公開活用に係る設備・施設等	62
	(2)	展示に係る整備計画	63
5-5		実施に向けての課題	64
	(1)	管理運営	64
	(2)	積極的な利活用に向けて	64
	(3)	バリアフリー対策	64
第6章 保護に係る諸手続				65
6-1		保護に係る諸手続	65
	(1)	き損届	65
	(2)	修理届	65
	(3)	現状に変更を及ぼす行為	66
	(4)	保存に影響を及ぼす行為	67
附属資料①		部分部位設定写真帳	68
		部分設定図	69
		部分部位設定一覧表	71

部分部位設定写真帳	87
附属資料② 復原改修工事時（昭和 43 年）の基本方針	132
附属資料③ 復原改修工事時（昭和 43 年）の変更範囲に対する考え方	133
附属資料④ バリアフリー対策工事の検討内容	134